

目 次

序論	1
一、研究動機	1
二、先行研究	4
三、研究方法及び内容	16
第一章 「興津彌五右衛門の遺書」における理想的な武士像	18
一、はじめに	18
二、主命至上の興津彌五右衛門	21
三、論功行賞の三齋公	29
四、おわりに	33
第二章 「阿部一族」における衝突した武士像	35
一、はじめに	35
二、公私混同しない細川忠利	37
三、完璧主義の阿部彌一右衛門	49
四、絶対権威を持つ細川光尚	59
五、面目を保とうとする阿部家の遺族	65
六、おわりに	71
第三章 「佐橋甚五郎」における破格した武士像	74
一、はじめに	74
二、道徳基準がかわる徳川家康	76
三、表裏のある佐橋甚五郎	81
四、おわりに	88
結論	90
テキスト	93
参考文献	93